

# 本年もよろしく お願いいたします

二〇二四年の新しい一年がスタートしました。本年も、寺領小学校の教育活動に、ご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

元日に起きた能登半島地震では、今もなお避難生活を余儀なくされておられる方、行方が分からない方がたくさんいらっしゃいます。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りすることともに、一刻も早い復興がなされ、被災された方に少しでも笑顔がもてることを願ってやみません。

昨年、寺領小学校では地震を想定した避難訓練を二回行っていきます。訓練というどこか他人事のような感じになることもあります。今回の地震、あるいは、続けておきた航空機事故などを目の当たりにし、危険はいつ起こるか分からない、どこで起こるか分からないというところを改めて実感しているのではないかと思います。

今回の出来事は、とても辛く悲しいことですが、そこからしっかり学ぶことが大切です。二回目の避難訓練は休憩時間に行い、子どもたちが自分で考え、適切な判断をして避難するという経験もしています。災害や事故が起こったとき、自分の身を守るためにすべきこと、また、まわりの人のためにできることについて、引き続き考えていけるようにしなければと思っています。とこぞです。

昔から、「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」とよく言います。なんとなく暮らしている、あつと言つ間にも終わってしまうのが三学期です。新しい学年へ向け、子どもたちが一日一日を大切に、充実した三学期にしていけるよう、教職員一同、がんばってまいります。



## 大谷選手からグローブが届きました！

寺領小学校にも、大谷翔平選手からプレゼントされたグローブが届きました。全校集会でグローブを披露し、6年生全員による始球式の形で「使い初め」をしました。



大谷選手から、「このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。」というメッセージが添えられていました。このグローブを見て大谷選手の事を思い出し、夢に向かって努力しようという気持ちを高めてほしいと願っています。



# そば打ち・宅配

12月25日、交流センターで、そば打ちと宅配サービスが行われました。寺領小学校からは、3年生以上の希望者と教員が参加しました。

6年生は、手慣れた手つきで生地を伸ばしており、さすがだなと感じました。他の学年の子どもたちも、そば打ち名人さんのていねいなご指導のおかげで、どんどん上手になっていきました。高齢者の方が食べやすい



太さに切るんだよと教えていただき、細やかに温かい心遣いに触れる機会ともなりました。

できあがったおそばは、4、5、6年生が、一人暮らしの高齢者さんや施設にお住まいの方にお届



けしました。とても喜んでくださり、子どもたちも思わず笑顔になっていました。

今回、初めておそばを食べたという子どももいました。年越しそばを食べるという文化も少しずつ変わっていているのですが、交流センターや地域の皆様のおかげで、またひとつ、子どもたちに貴重な経験をさせていただくことができました。ありがとうございました。



島根県内教育長 共同メッセージ - 保護者・地域の皆さまへ -

## 教職員の「働き方改革」にご理解・ご協力をお願いいたします。

【背景】  
 働き方改革推進協議会、教育関係者等との協力を得て、子どもたちの学びの機会を確保し、教育の質の向上を図ることを目指しています。  
 一人、教職員の働き方改革を推進し、教育の質の向上を図ることを目指しています。  
 一人、教職員の働き方改革を推進し、教育の質の向上を図ることを目指しています。  
 一人、教職員の働き方改革を推進し、教育の質の向上を図ることを目指しています。

【ご協力いただきたいこと】  
 (保護者や地域の皆様、関係者の方々にお願いいたします。)

- 学校への電話は、緊急時を除き、可能な限り勤務時間内におかけください。**  
勤務時間の外は、学校に直接連絡ができません。緊急時以外には、お電話の代わりにメールやLINEなどでお問い合わせください。
- 登下校については、引き継ぎ、ご家庭・地域での見守りにご協力をお願いいたします。**  
子どもたちの安全を最優先とし、登下校時の見守りや、ご家庭・地域での見守りにご協力をお願いいたします。
- 地域・学校の連携を推進するため、学校や関係機関の会合・行事のうち可能なものについては、平日・勤務時間内の開催をご検討ください。**  
学校や関係機関の会合・行事のうち可能なものについては、平日・勤務時間内の開催をご検討ください。

お問い合わせ先：島根県教育庁学校企画課 TEL 0852-22-6671

先般、島根県教育委員会より、教職員の働き方について、左のようなメッセージが出されました。新聞等の報道でご存知の方もいらっしゃると思います。

島根県の小学校教員採用試験の倍率は3年連続で2倍を切り、今年度は1.7倍でした。10年前は3.6倍でしたので、約半分の倍率となっています。教員は足りないが、受験する人は減っているという状況が続いています。人手不足の問題は学校現場に限ったことではありませんが、このまま何もしなければ、教員が足りない学校がどんどん増え、学校の統廃合という議論がさらに進むこともあるのではないかと危惧しています。寺領小学校の教員も、夜7時、8時ごろまで残っていることは少なくありません。少しでも働きやすい環境を整えることは、喫緊の課題となっています。

島根県内教育長共同メッセージ  
 (島根県教育庁学校企画課HPより)

3学期より、朝の欠席等の連絡をメールでできるようにしましたが、これは、保護者の皆様の利便性を考慮するとともに、朝の忙しい時間帯に担任が手をとられないようにするための取組でもあります。働き方をよくすることは、子どもとしっかり向き合うことにもつながります。子どもたちや保護者の方のメリットを考慮しながら教職員の働き方に目を向け、今後も様々な工夫をしていきたいと考えています。保護者や地域の皆様のご協力がなければできないことも出てくるかと思えます。こうした状況をおくみとりいただき、お力添えをいただきますようお願いいたします。